

## 第2回FWPA維持管理技術者ワークショップを開催

2019年10月30日に東京都港区立港勤労福祉会館で、ディスプレイ排水処理システムの維持管理者や排水処理槽メーカー計15名にご参加いただき、西務委員長の進行で「第2回FWPA維持管理技術者ワークショップ」を開催いたしました。

本ワークショップのテーマは、昨年のワークショップ参加者から要望のあった「維持管理現場における安全対策」と「長期修繕計画への反映」とし、各グループに分かれ議論を行いました。

最初に岡田理事長から、当協会と維持管理を行っている実務者との接点を本ワークショップで構築し、当協会ですぐにフィードバックを行っていくとの挨拶がありました。



岡田理事長挨拶

### 1. 維持管理技術者登録等の制度移行についての報告

ワークショップに先立ち、西総務委員長より当協会にて来年度より維持管理技術者等登録の制度移行を予定しており、細則で定める資格等を有していなくても、講習会を受講し試験に合格することで『維持管理技術者補』として登録できる仕組みへ移行していく旨の説明がありました。



西総務委員長報告

### 2. グループ別テーマの討議

#### (1) グループ1「維持管理における安全対策」

(リーダー：平川委員、サブリーダー：野津委員)

作業動線と居住者との干渉や、汚泥引き抜き作業、地下ピットでの照明、臭気対策等に活発な討議が交わされ、当協会ですぐに策定中の排水処理槽設置安全指針(案)に反映することとしました。

#### (2) グループ2「長期修繕計画への反映」(リーダー：綿谷委員)

保全用語の定義から討議を開始し、実務情報を入れた耐用年数や交換方法等について活発に議論が進みました。引き続き当協会の総務委員会での課題に落とし込みます。



成果発表

### 3. 総括

岡田理事長より、地下ピット開口部の丁寧な設計や作業照明への配慮、居住者のためにノウハウを盛り込んだ修繕計画策定の重要性についてのお話があり、現場を熟知している技術者と当協会とのつながりを一層強めて、現場の意見を活かした協会活動としたいので、今後とも協力をお願いするとの総括がありました。



グループ1



グループ2